取扱代理店：　大林新星和不動産株式会社　　保険事業第一部　　行
FAX：　03-6712-8582　　TEL：　03-6632-5762
MAIL：o_zenkokurousai@ml.osre.co.jp

会社加入用(A)
2025年度版

全国労災補償制度「労災上積みプラン」適正人数算出申告書

【申告1】　加入申込人のご記入・ご捺印

	整理番号　（　　）	取引先コード（　　）	災防協会員区分　（　　）	
加入申込人様	住　所	〒		
	フリガナ			
	会社名 代表者名			㊞
	ご担当部署		TEL：	
	フリガナ ご担当者名		FAX：	
	業　種		E-mail	

★重複する他の契約がある場合、ご記入ください	→	保険会社名	保険の種類	満期日	保険金額
★法定外補償規定の有無　いずれかに○印　無　有	"有"の場合 →	● 写しを添付してください。 ● 法定外補償規定に定められた補償金額を超えるタイプにはご加入できません。			

【申告2】　人数の算出

①貴社直傭社員数（ア）と、政府労災特別加入済中小事業主等（イ）の合計人数を算出

（ア）　人　＋　（イ）　人　＝　A. 合計　人

②全事業場の全下請負人の平均被用者数（月別1日平均人数）を算出

西暦　年	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
月別1日平均人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

合計　人　÷　12ヶ月　＝　B. 1日平均被用者数　人
（小数第一位を四捨五入）

③平均被用者数の算出結果

A. 合計　人　＋　B. 1日平均被用者数　人　＝　C. 平均被用者数合計　人

裏面

【申告3】　加入タイプの選択

加入タイプ	①型	②型	③型	④型	⑤型	⑥型
被用者 1人あたり(月払)	670円	780円	1,070円	1,300円	1,880円	2,190円

C. 平均被用者数合計　人　×　加入タイプ保険料　円　×　未経過月数　ヶ月　＝　D. 年間保険料　円

【申告4】　休業補償付帯の有無

補償割合	20%
被用者 1人あたり(月払)	1,730円

・　付帯なし

C. 平均被用者数合計　人　×　休業補償保険料　1,730円　×　未経過月数　ヶ月　＝　E. 年間保険料　円

【申告5】　使用者賠償付帯の有無

加入タイプ(支払限度額)		①型	②型	③型	④型	⑤型	⑥型
被用者 1人あたり(年払)	10,000万円	8,280円	8,160円	7,920円	7,800円	7,560円	7,440円

・　付帯なし

※1名・1災害につき支払限度額10,000万円(免責0万円)保険料払込方法は年払のご契約のみに付帯可能

C. 平均被用者数合計　人　×　加入タイプ保険料　円　＝　F. 年間保険料　円

【申告6】　保険料払込方法の選択

請求書払	一時払	月払

【申告7】　合計保険料(【申告6】でご選択いただいた払込方法の保険料を算出ください)

一時払　D. 年間保険料　円　＋　E. 年間保険料　円　＋　F. 年間保険料　円　＝　合計年間保険料　円

月払　D. 年間保険料　円　＋　E. 年間保険料　円　÷　未経過月数　ヶ月　＝　合計月払保険料　円

最終確認項目：裏面を必ずご確認の上、チェック欄をご記入ください⇒

☆本見積依頼シートおよび決算書などにより取得した情報は、保険料お見積り・ご案内に利用するほか保険会社より保険募集業務の委託を受けて、弊社が取り扱う損害保険、生命保険およびこれらに付帯・関連するサービスを提供する場合に必要な範囲内で利用します。

会社加入用(A)

御中

最　終　確　認　項　目

● ①の貴社直傭社員数は「常時使用労働者数（主に直傭社員）」と「特別加入済中小事業主等」の合計人数であることを確認しました。

● 「常時使用労働者数（主に直傭社員）」は貴社直近の「労働保険概算・確定保険料申告書」に記載されている人数であることを確認しました。
※出向者を補償対象者に含める場合には取扱代理店　大林新星和不動産㈱にお問い合わせください。

● 大林組以外からの工事も含むことを確認しました。

● 貴社が他社とJVを組んで施工したJV工事で、分担施工方式の場合は保険対象となりますので人数をカウントし、共同施工方式の場合は保険対象外ですので人数は除外となります。

● 監督・作業員・臨時雇い・政府労災特別加入済の一人親方・下請中小事業主等の総数が「月別１日平均人数」の算出基礎になることを確認しました。

● 一人親方・中小事業主等政府労災特別加入済の総ての人数も含めたことを確認しました。

● ②のＢ.の「1日平均被用者数」は直近会計年度1年間もしくは把握可能な直近1年間の下請負人数を、月別1日平均人数で算出し合計した人数を12ヶ月で割った人数であることを確認しました。

以上の項目点を確認し、③のＣ.平均被用者数合計を正しく算出したことを確認しましたか？

▶ □ はい　　□ いいえ

最終チェック欄（必須）

大林組協力会社災害防止協会 本部事務局 使用欄

受付番号		払込方法	□ 月払　（　月分以降の請求ご案内　）□ 一時払										
整理番号													
取引先コード													新規
受付年月日	年　月　日												更新
適用年月日	年　月　日												中途加入
登録先本支店（取引先コード区分）	大阪	東京	名古屋	九州	東北	横浜	札幌	広島	四国	神戸	北陸	西日本RC	東日本RC
	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）	（□）
備考欄													

大林新星和不動産　確認・訂正箇所　　**担当**（　　）

□ ①の合計の人数1人、確認済（　年　月　日）
□ ②の西暦年月、 修正、確認済（　年　月　日）
□ ②の1日平均被用者数0人、確認済み（　年　月　日）
□
□

全国労災補償制度「労災上積みプラン」適正人数算出申告書

～　ご記入要領　～

※すべて必須項目となりますので、別紙【記入例】をご参考に、記入漏れのないようご記入・ご捺印をお願いいたします。

【申告1】　加入申込人のご記入･ご捺印

・貴社情報を事前に入力しておりますので、内容に誤り（変更）がございましたら、訂正をお願いいたします。

・業種欄は、政府労災で適用されている事業種類と一致するようご記入ください。

・必ずご捺印をお願いいたします。

・重複する他の契約がある場合「保険会社名」「保険の種類」「満期日」「保険金額」について記載をお願いいたします。

・法定外補償規定を定められている場合は写しをお送りください。なお、法定外補償規定を超える補償金額のタイプにはご加入できませんのでご注意ください。

【申告2】　人数の算出

・①の（ア）：政府労災「労働保険概算・確定保険料申告書（写）」に記載の「常時使用労働者数」をご記入ください。

・①の（イ）：政府労災保険特別加入済の中小事業主等の人数を記入。該当なしの場合は「0人」とご記入ください。

・**①のA．合計**：上記（ア）と、上記（イ）の合計人数をご記入ください。

※1人の場合は、確認のためご連絡をさせていただきます。

・**②のB．1日平均被用者数**：直近の会計年度1年間もしくは把握可能な直近1年間の「（西暦）年月」および「下請負人数」をご記入ください。

※将来の見込数字ではなく、過去の実績数字をご記入ください。

※0人の場合は、確認のためご連絡させていただきます。

・②全事業場の全下請負人の平均被用者数（月別１日平均人数）の算出については、別紙≪記入例のポイント3≫をご参照ください。

・**③のC．平均被用者数合計**：上記Aと、上記Bの合計人数をご記入ください。

【ご注意】

保険金お支払の際、ご申告いただいた平均被用者数が実際の平均被用者数に不足していた場合には、ご申告いただいた平均被用者数に基づく保険料と、実際の平均被用者数に基づく保険料との割合により保険金を削減することになりますのでご注意ください。

【申告3】　加入タイプの選択

・加入タイプをご選択いただき○をご記入ください。

・**D. 年間保険料**：申告2にて算出いただいた「C. 平均被用者数合計」にご選択いただいた加入タイプの1名あたり月払保険料をかけ、さらに未経過月数（12ヶ月）をかけて保険料を算出ください。

【申告4】　休業補償付帯の有無　昨年度より新設

・休業補償を付帯する場合は、保険料欄：1,730円に○をご記入ください。**付帯しない場合は「付帯なし」に○。**

・**E. 年間保険料**：申告2にて算出いただいた「C. 平均被用者数合計」に１名あたりの月払休業補償保険料（1,730円）をかけ、さらに未経過月数（12ヶ月）をかけて保険料を算出ください。

【申告5】　使用者賠償付帯の有無　新設

・使用者賠償を付帯する場合は、申告3でご選択いただいた加入タイプと同型に○をご記入ください。

付帯しない場合は「付帯なし」に○。

・**F. 年間保険料**：申告2にて算出いただいた「C. 平均被用者数合計」に該当加入タイプの1名あたり年払保険料をかけ、保険料を算出ください。

【申告6】　保険料払込方法の選択

・保険料の払込方法は「請求書払の一時払」・「請求書払の月払」・「口座振替の一時払」いずれかをご選択ください。

※「口座振替の一時払」は、ご継続契約のみご選択可能ですので、新規での口座振替の選択はできません。

【申告7】　合計保険料（ご選択いただいた払込方法の保険料を算出ください）

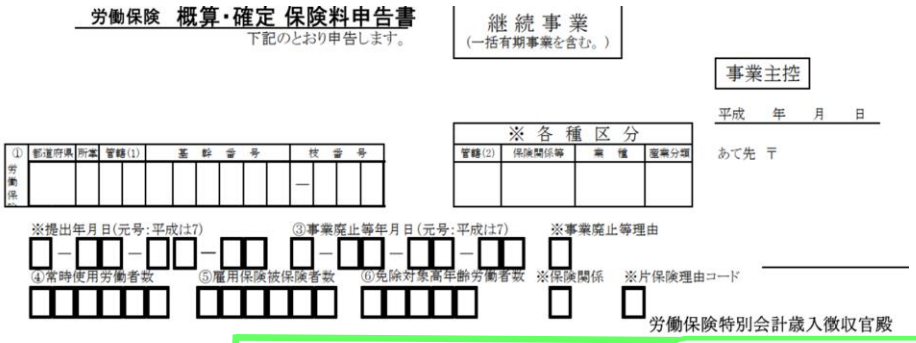
・**合計年間保険料**：申告3～5にて試算いただいた「**D. 年間保険料**」「**E. 年間保険料**」「**F. 年間保険料**」を合計し、保険料を算出ください。

・**合計月払保険料**：申告3,4にて試算いただいた「D. 年間保険料」「E. 年間保険料」の合計を12ヶ月で割り、保険料を算出ください。

記入例 ～平均被用者数の算出方法の解説～

【記入例】

①貴社直傭社員数と政府労災特別加入済中小事業主等の合計人数算出方法



（ア）	＋	（イ）	＝	A．合計
45 人		5 人		50 人

ポイント１

（ア）・・・「労働保険概算・確定保険料申告書（写）」に記載した「常時使用労働者数（主に直傭社員）」の人数を記入

ポイント２

（イ）・・・政府労災保険特別加入済の中小事業主等の人数を記入
該当なしの場合は「0人」と記入

②全事業場の全下請負人の平均被用者数（月別１日平均人数）の算出方法

例：直近会計年度が2023年度で3月決算の場合

西暦 2023～2024年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別１日平均人数	2 人	2 人	2 人	3 人	3 人	3 人	2 人	2 人	2 人	4 人	3 人	2 人	30 人

合計			B．1日平均被用者数
30 人	÷ １２ ヶ月	＝	3 人

（小数点第一位を四捨五入）

ポイント３

1）直近の会計年度１年間もしくは把握可能な直近１年間の下請負人数を使用願います。
2）月別１日平均人数の算出方法
例：４月に下記の３日間下請を行った場合
４月１０日　１０人
４月１８日　２０人
４月２３日　３０人
この場合の４月・月別１日平均人数は
１０人+２０人+３０人　＝２人
４月の場合３０日
となります（実日数３日ではなく、月歴日数３０日を分母として計算してください）

③平均被用者数の算出結果

A．	＋	B．	＝	C．平均被用者数合計
50 人		3 人		53 人